

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	平成 29 年度 第 2 回 嬉野市総合計画審議会	
開催日時	平成 2 9 年 7 月 1 0 日 (月) 1 5 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0	
開催場所	嬉野市役所塩田庁舎 3 階 3 - 2, 3 会議室	
会議の公開の可否	☑ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数 0 人
公開不可・一部不可 の場合はその理由		
出席者	委員 (敬称略)	山口健一郎、山口千鶴、永田由美、坂口典子、田島洋文、 永松万一郎、久保二三子、森真佐子、大川内千代、江口知佐子、 田代浩文、戸田順一郎、諸上栄大、谷山佳世
	事務局	企画政策課長、副課長、主査、主事
	その他	
会議の議題	①諮問 ②第 1 次総合計画後期基本計画に係る目標達成状況調査について報告 ③全体構成 (案) について ④序論 (案) について ⑤基本構想「将来像」「基本目標」について意見交換	
配布資料	①第 1 次総合計画後期基本計画に係る目標達成状況調査 (報告) ②第 2 次嬉野市総合計画 全体構成 (案) ③「序論 (案)」(第 2 次嬉野市総合計画) ④県内自治体の総合計画における「将来像」一覧	
審議等の内容	別紙のとおり	

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	1. 第1次総合計画後期基本計画に係る目標達成状況調査について 2. 第2次総合計画 全体構成（案）について 3. 序論（案）について 4. 基本構想「将来像」「基本目標」について意見交換		
内 容	1～3. 事務局より説明。委員質問・事務局回答、委員の意見等 4. 基本構想「将来像」「基本目標」について委員の意見等		
審議経過	委員	1. 第1次総合計画後期基本計画に係る目標達成状況調査について 例えば、移動支援事業において目標値の達成、目標未到達といった報告が見られるが、重要なのは、目標数をクリアすることが目標ではなく、利用したい人が利用できる環境が整っているかどうかである。利用件数の伸びだけで、一概に環境が良くなったとは判断できないこともある。要は、ニーズに対応できた割合のような数値が設定されていれば検証が行いやすいし、目標値として適切だと考える。	
	委員	目標値は第2次総合計画でも設定するのか？	
	事務局	第2次総合計画でも目標値を設定する予定である。ただ、全ての項目で必ず設定するのではなく、設定すべき項目を絞って、何のための目標値なのかを明確にしながら定めていければと考えている。	
	委員	審議会において、目標値について審議する機会はあるか？議論できる時間を設けてほしい。	
	事務局	事務局で案を示すので、ご意見を賜りたいと考えている。	
	委員	前回設定した目標値の項目の中には、あえて設定しなくても良かったもの（現実的に達成困難を予見できたもの）も見受けられる。達成状況調査だけでも大変な作業だと思う。第2次総合計画では、根拠等を明確にし、設定した方が良い。	
	事務局	2. 第2次総合計画 全体構成（案）について 全体構成（案）の説明。 序論－基本構想－基本計画の3部構成。 基本構想は、 第1章は「私たちの決意」として、まちづくりの内容ではなく、まちづくりを進める上での基本的な考えや心構えを定める章。 第2章で「私たちの未来図」として、目指すべきビジョンを掲げ、 第3章に「私たちの政策（名称仮）」として目標を達成するための方法を示す構成にしている。	

	<p>基本構想第3章の「私たちの政策」については、分野毎の7つの基幹政策とこれからの時代に対応すべく4つの分野横断リーディングプロジェクトを設定している。</p> <p>基本計画は、分野別、あるいは分野横断リーディングプロジェクト別に具体的施策を定めます。第1次総合計画の体系と比較して、見つけやすいように配置しており、わかりやすく変更できていると思う。</p>
委員	<p>分野横断リーディングプロジェクトとあるが、第1次総合計画にはなく、第2次総合計画と一つの目玉として考えられるが、具体的にどういったことを想定しているのか？</p>
事務局	<p>「健幸長寿プロジェクト」で言えば、超高齢社会に対応する政策と位置付けている。単に高齢者福祉（介護など）としてだけで施策を考えるのではなく、幅広く例えば“スポーツ”“生涯学習”“(健康づくり)”“(公共交通)”などあらゆる分野にまたがって対応策が必要になってくる。(※()内は審議会においては例示していない。)</p>
委員	<p>単純に言えば、縦割りではないという考えで良いか？</p>
事務局	<p>組織編成までは想定していないが、考え方として分野横断的考えを取り入れている。</p>
	<p>3. 序論 (案) について</p>
事務局	<p>まだ仮の段階であり、事務局でも今後内容を詰めていくこととしている。第1回審議会で説明した内容が主となっている。第1回審議会で説明していなかった「現状・課題と将来展望」について説明すると、現状・課題として「強み」「機会」「課題」「社会的背景」、また「強みや機会を生かす」「課題や社会的背景に対応する」将来展望を示している。</p>
委員	<p>「機会」に「ふるさと納税の好調」とあるが、制度の今後が不透明であるがそのことは踏まえて盛り込まれているのか。現在、事業者として恩恵を受けているが、最近の報道でもあったように返礼率割合の見直し（5割→3割）が行われるなど、先行きが不安な点もある。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、ふるさと納税制度の先行きは不透明であることから、この点については、削除も含めて変更していくかと考えている。</p>
委員	<p>SWOT分析と言って企業経営の分析で用いられる手法と似ていて、上2つは良いこと、下2つは悪いこと、左側2つが内的要因、右側2つが外的要因とし、4つの要素に分けて考えていくものである。どこまでを内的要因・外的要因として捉えるかが非常に難しいものである、例えば「新幹線の開通」については、提示されたものは外的要因として捉えられているが、内的要因なのか、外的要因なのか、といったところを再度事務局で詰めていただければと思う。整理するのは難しいと思うが、SWOT分析表を作ることが目的ではなく、方向性を導くことが重要と考える。</p>
事務局	<p>確定ではないので、今後のご意見、ご提案等をお願いしたい。</p>

	<p>委員</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>事務局</p>	<p>4. 基本構想「将来像」「基本目標」について意見交換</p> <p>※委員で3班に分かれて、ワールドカフェ形式で意見を出し合ってもらった。話し合った内容は次のとおり。</p> <p>(1班) キーワードとして「つながるまち」 合併して10年経つが、旧両町の繋がりを再確認したい。古くは長崎街道で繋がっており、現在も塩田川で繋がっている。さらに、これからは新幹線で外との繋がりが広がっていく。 色々な意味で繋がりを持たなければいけないまちだと感じる。人々との繋がり。商売においても大事。観光客にしても世界との繋がりが今まで以上に広がっている。また周辺市町や長崎県との繋がりなど。こうした、あらゆる結びつきを一言で表した。</p> <p>(2班) キーワードとして「ほっとするまち」 ※嬉野市をイメージし、当て字で温津陶(ほっと) 温泉の「温」、人の温かさ、ほっと安心、Hot(ホット)なまちといった感じで、考えた。</p> <p>(3班) 「歓声」というフレーズの良さを改めて感じた。第2次総合計画でも継続していくのも良いのではと。2班で出された「ほっと」といったように嬉野市をイメージできるような良い言葉があればと考えたりした。 「歓声」という言葉を見ると嬉野市をイメージできるぐらいに「歓声」を定着させていければ、例えば「歓声に包まれる」といったように「歓声」を用いて、表現をさらに深めていっても良いのではといった案も出た。</p> <p>委員 意見を出していただいたが、総合計画にこれらをどう反映させていく考えか？</p> <p>事務局 審議会の意見として市長に伝え、最終的に市長とともに決定し、委員にお知らせしたいと考えている。 過去、総合計画を策定するにあたり、今回のように将来像や基本目標の部分について話し合いの場はなかった。非常に良い機会だったと感じている。 委員の皆様のアイデア、考えは、「将来像」のフレーズに反映されない場合でも、基本目標の中に組み込ませたりしながら策定していきたいと考えている。</p> <p>事務局 第3回目以降は、具体的審議を行って頂く。全体ボリュームが大きく、また、委員各々の専門性もあられることから、3つの部会(総務企画部、市民福祉部、産業建設部)に分かれて頂き審議を進めていただくこととした。 (部会編成は、委員の第1・第2希望を募った上で事務局で調整させていただくこととした。)</p>
その他	なし	